

寝屋川市DX推進アクションプラン

令和8年7月



寝屋川市DX推進計画2.0(以下「DX推進計画」という。)では、
目指す姿を「**新たな市民サービスを デジタルで切り拓く**」とし、
その実現のため、以下の3つの基本方針、12の取組を掲げています。

社会課題と新たな価値へのチャレンジ

市民サービス改革へのチャレンジ

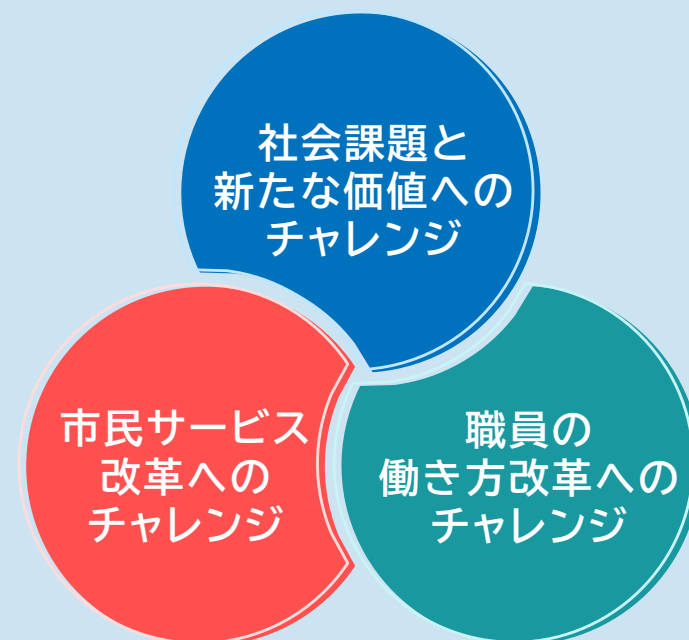
職員の働き方改革へのチャレンジ

アクションプランでは、12の取組について、主な取組内容を示しています。

全庁を挙げて取り組んでいくものを「重点取組」と位置付け、目標値を設定し、「部会」で進捗管理及び課題に向け、DXを推進します。

アクションプランは、社会情勢や国の動向、AIをはじめとするデジタル技術の進展等を踏まえ、年度ごとに策定します。

新たな市民サービスを デジタルで切り拓く



「3つの基本方針」に基づく「12の取組」で今後予定している主な事業内容です。

社会課題と 新たな価値への チャレンジ

【重点】 AI技術との共進

行政データのオープン化拡充

地域社会のデジタル化の推進

AI等活用人材の育成

問合せ等のAI対応、AI映像解析、AIエージェント など

庁内外のオープンデータ拡充、ダッシュボードの構築 など

地域へのデジタル支援、民間保育園等への導入支援 など

外部人材によるデジタル研修、AI等の資格取得支援 など

市民サービス 改革への チャレンジ

【重点】 利用者ニーズに応じる行政手続

負担軽減につながるフロントヤード改革

ターミナル化による市民サービスの充実・強化

快適な暮らしを高めるデジタル活用

手続の完全オンライン化、キャッシュレス化の拡大 など

書かせない窓口の拡充、バックヤード業務へのデータ連携 など

遠隔窓口システムの拡充、地域施設等での環境構築 など

インフラの管理・保全、安全・安心の取組、健康増進 など

職員の 働き方改革への チャレンジ

【重点】 業務の省力化、効率化の加速化

生産性や精度向上の情報システム更改

柔軟な働き方の基盤整備

情報セキュリティ対策の徹底

デジタルツールの活用、システムの導入、RPAの拡充 など

内部事務システムの更改、校務支援システムの更改 など

テレワークの推進、フリーアドレス導入を前提とした執務環境構築 など

セキュリティポリシーの遵守、ネットワークの更改 など

重点取組と目標設定

3つの基本方針ごとに定める重点取組「AI技術との共進」「利用者ニーズに応じる行政手続」「業務の省力化、効率化の加速化」には、計画期間内の「目標値」を設定し、全庁での着実な推進を図ります。

AI技術との共進

業務の省力化、効率化の加速化

本取組の目標内容は、更なる生産性向上と所属職員間の業務量の偏りの解消を図るため、業務改革（BPR）とAI技術をはじめとして、新規・既存に関わらずデジタル技術の積極的な活用に取り組み、全所属での総勤務時間の縮減を目指すものとします。

デジタル技術を効果的に活用するには、業務改革（BPR）が不可欠であり、改革後の業務に応じたAI技術をはじめとしたデジタル技術の活用が、複層的に効果をもたらすため、「AI技術との共進」と「業務の省力化、効率化の加速化」を合わせて目標設定する。

目標値

対象業務の業務時間 5%削減達成所属率

	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
目標	10.0%	45.0%	100%	-	-
実績					

- 「削減達成所属率」とは、各課等でAIの活用等に取り組んだ「対象業務」において令和7年度の業務時間と比較して5%削減した所属の割合をいう。

※「対象業務」とは、各課等がR10年度末までに業務改革（BPR）とデジタル技術の活用に取り組むことで目標達成を目指す業務。

利用者ニーズに応じる行政手続

本取組の目標内容は、全ての行政手続で申請等のオンライン化を令和7年度に達成したことを踏まえ、手続の完了に必要である決定通知等のオンライン交付に向け、オンライン申請件数や添付書類の有無等に応じて段階的に取組を進め、申請から交付までをオンラインで対応する“完全オンライン化”を目指すものとします。

目標値

完全オンライン化の手続率

	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
目標	6.9%	14.5%	31.9%	65.9%	100%
実績					

重点取組
AI技術との共進

- 教育委員会(市立小・中学校)や福祉部(障害福祉)の電話対応を24時間365日、市民等からの問い合わせに対し、AIが最適な回答を提示するシステムの構築を進め、市民の事情に対応し、利便性向上に取り組みます
- 職員の業務パソコンで利用する生成AIのRAG機能(検索拡張機能)に本市独自情報を登録し、職員間の問い合わせにチャット形式による自動応答化を進め、フレックスタイム制度に対応した環境整備に取り組みます

リーディング事業
問合せ等のAI対応リーディング部局
経営企画部行政データの
オープン化拡充

- 全部局で二次利用しやすいデータ形式でのオープン化を進め、市民等から問合せが多い情報から優先的に取り組みます。
- 各業務間で利用するデータの共有やダッシュボードによる視覚化など、庁内でのオープン化の検討を進めます。

リーディング事業
庁内外のオープンデータ拡充リーディング部局
経営企画部地域社会の
デジタル化の推進

- 地域社会から市域全体にデジタル化が波及するよう、民間施設や地域団体のデジタル技術導入・拡大に向けた検討を進めます。
- 自治会の負担軽減を目指し、デジタル技術を活用した運用フローの検討とモデル自治会の選定に向けた検討を進めます。

リーディング事業
地域へのデジタル支援リーディング部局
市民活動部、福祉部、こども部AI等活用人材の
育成

- 生成AIを効果的に利用するためのプロンプト力向上研修や、業務システムの大量データを効率的に集計・管理に活かすアクセス研修を実施します。
- 事務処理を論理的に分解・整理し、構造化できるプログラミング思考とアプリ開発スキル研修を実施します。

リーディング事業
職員・教職員のデジタル人材育成リーディング部局
経営企画部、総務部、
教育委員会事務局

※リーディング事業を牽引する部局を「リーディング部局」とする。

重点取組
利用者ニーズに
応じる行政手続

- 申請に対し、決定通知等を伴う手続のうち、保育施設利用申込などオンライン申請が多いものから優先的に実施し、オンライン申請が少ないものは手続フローのBPRに取り組み、オンライン化の利用促進を目指します。
- 公共施設予約システムの更改に合わせ、施設利用料のキャッシュレス決済に取り組むとともに、国民健康保険料や保育料等を納付する際、二次元コードによるキャッシュレス化を進め、市民の利便性向上を図ります。

リーディング事業
手続の完全オンライン化リーディング部局
経営企画部負担軽減につながる
フロントヤード改革

- マイナンバーカードに記録されている住所、氏名等の基本情報を申請書に自動転記する環境を構築します。
- 転入手続を行う際、転出証明書の二次元バーコードを読み取り、転入届の必要事項を自動転記し、関連手続業務へのデータ連携を整備し、それぞれの業務システムに自動入力する環境構築を目指します。

リーディング事業
書かせない窓口の拡充リーディング部局
市民サービス部、福祉部、
こども部ターミナル化による
市民サービスの
充実・強化

- 来庁者が施設間の移動を要することなく手続や相談ができるよう、オンライン業務の拡充や、個人情報適切な取り扱いのもと関係機関との連携が可能となるよう手法等の検討を進めます。
- 市民が最も近い公共施設で手続や相談が行えるよう、地域施設等において、オンライン対応が可能となる環境構築を目指します。

リーディング事業
遠隔窓口システムの拡充リーディング部局
健康部、福祉部、
都市デザイン部快適な暮らしを
高めるデジタル活用

- 災害時における情報の即時性を高める防災行政無線一斉配信システムと、地上回線に頼らない衛星通信サービスのスターリンクを導入します。
- 道路陥没や上下水道管路の漏水等を検知し、未然防止するために、デジタル技術の活用手法を検討します。

リーディング事業
インフラの管理・保全リーディング部局
危機管理部、環境部、
都市管理部、上下水道局

※リーディング事業を牽引する部局を「リーディング部局」とする。

業務の省力化、
効率化の加速化

重点取組

- 選挙ポスター掲示場管理システム、建築営繕積算システムを導入し、業務効率化やヒューマンエラー抑止を図ります。
- 小・中学校での校務業務に生成AIを導入し、授業準備などに活用することで業務効率化を図り、教職員の働き方改革を進めます。また、既存システムから抽出できるデータ量などに応じて、職員による内製ツールの検討を進めます。

リーディング事業

デジタルツールの活用

リーディング部局

経営企画部

生産性や精度向上の
情報システム更改

- 内部事務システム(文書管理、財務会計等)の更改に向け、ヒューマンエラーの要因となり得る入力や確認作業のシステム化や教職員の負担軽減となる校務支援システムの更改に向けた検討を進めます。
- 他団体や組織内の更なる情報共有と業務の効率化が図られるよう、グループウェアシステム^(※)を更改します。

リーディング事業

内部事務システムの更改

リーディング部局

財務部、総務部、会計室、
教育委員会事務局

※ グループウェアシステムとは、関係機関との情報連携や組織内の情報共有、スケジュール調整などを効率よく行うためのソフトウェアのこと。

柔軟な働き方の
基盤整備

- 職員がライフステージに応じたワークライフバランスを確保できるよう、テレワーク制度の拡充に対応した実施環境などについて、費用対効果やセキュリティ対策などを踏まえた検討を進めます。
- 本庁舎改修に合わせて、フリーアドレスの導入を前提とした、デジタルを活用した柔軟かつ効率的な執務環境の検討を進めます。

リーディング事業

テレワークの推進

リーディング部局

総務部

情報セキュリティ
対策の徹底

- 全ての職員・教職員に対して、本市情報セキュリティポリシーの理解促進を図り、セキュリティ事故を生じさせないよう、実効性を確保する体制の構築と取組を実施します。
- 行政・教育それぞれにおいて、今後の更なるクラウド活用や働き方の多様化を見据えたネットワーク環境の実現に向けた検討を進めます。

リーディング事業

セキュリティポリシーの遵守

リーディング部局

経営企画部、教育委員会事務局

※リーディング事業を牽引する部局を「リーディング部局」とする。

寝屋川市DX推進アクションプラン
